

## 平成27年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	中沢雄一
	全体計画			経費区分	-	内線	245-1770
事務事業名	4234 動物園管理運営事業						
所 属	200200 まちづくり推進部・まちづくり課						
施 策	06023300 公園整備と街中緑化の推進						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	080404 土木費・都市計画費・臥竜公園管理事務所費					
	事業	030000 動物園管理運営事業					
事業目的				事業概要・効果			
来園者に親しまれるとともに市民の憩いの場となる動物園にする。				動物の展示方法の工夫、様々なイベントの実施、園内でゆっくりとくつろげる空間づくり等を行い、「いやし」を提供して入園者増を図る。			

**PLAN-DO**  
年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
入園者：132,095人	入園者：125,579人
平成24年度 実績	平成25年度 実績
入園者：161,558人	入園者：161,329人
平成26年度 実績	平成27年度 予定
入園者：152,862人	入園者：160,000人

指標名	須坂市動物園入園者数						
算式	年間入園者数					単位	人
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標				160,000		
	実績	125,579	161,558	161,329	152,862		
指標選定の理由	須坂市動物園の特徴である「ふれあい」と「いやし」を充実することにより、入園者増を図る。						
最終年度目標の根拠	過去の実績を基に算定。						
指標名							
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成26年度 決 算	平成27年度 予 算
事業費		24,462	26,994
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	20,799	21,431
一般財源		3,663	5,563
人員数(人)	正規職員	5.9	4.8
	嘱託職員	3.4	7.4
	臨時職員	7.3	5.1
人員コスト	正規職員	40,462.2	32,918.4
	嘱託職員	9,265.0	20,165.0
	臨時職員	8,592.1	6,002.7
	計	58,319.3	59,086.1
市民一人当たりの経費		1.6	1.6
総額		82,781.3	86,080.1

(単位：千円)

平成26年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	270	写生大会審査員謝礼等
11節 需用費	17,203	光熱水費等
13節 委託費	2,351	機械警備委託等
15節 工事請負費	500	獣舎撤去
19節 負担金補助及び交付金	277	会議等出席負担金
その他	3,861	

(単位：千円)

平成27年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	273	写生大会審査員謝礼等
11節 需用費	19,129	光熱水費等
13節 委託費	3,158	機械警備委託等
15節 工事請負費	495	獣舎撤去
19節 負担金補助及び交付金	283	会議等出席負担金
その他	3,656	

## CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	高い
評価コメント	動物園は県内でも数少ない特別な施設であり、市民の憩いの場として必要。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	普通
評価コメント	3年連続で入園者数が150,000人を超えた。4年前は125,579人であった。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	やや向上
評価コメント	正規職員を嘱託職員にして人件費を削減している。	

## 振り返り（決算年度の取組み課題）

イベント内容の工夫と、展示動物の充実を図るなど、魅力向上に努める。また、情報紙、ホームページ、ブログ等で情報発信に努めた。

## ACTION

## 1次評価

## 2次評価

次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）	次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
更なる創意工夫、他者とのコラボレーションなど、柔軟な発想により魅力を高めていく。		親しみのある手づくり動物園として、創意工夫をこらしながら魅力ある動物園づくりを進めていく	

## 外部評価

次年度以降の方向性
外部評価コメント